



第35次派遣海賊対処行動航空隊帰国

7月25日（木）、八戸航空基地において、ソマリア沖・アデン湾で海賊対処の任務に就いていた派遣海賊対処行動航空隊第35次要員の帰国行事を行いました。

35次要員は、今年4月12日に八戸航空基地を出発し、現地での任務飛行を完遂し、隊員や家族らの出迎えのもと、約3か月ぶりに八戸航空基地に降り立ちました。

帰国行事では、まず始めに35次要員の指揮官を務めた安納2佐が第2航空群司令へ帰国報告を行いました。その後、第2航空群司令が、岩谷毅防衛大臣の訓示を代読し「安納藤嘉2等海佐の指揮・統率の下、一致団結、常に高い士気をもって立派に任務を完遂しました。本日、無事帰国したことを心から嬉しく思います。本当にお疲れ様でした。諸君の厳しい環境下での任務遂行は、国際社会から高い評価を得ています。自らの成し遂げた任務を大いに誇りに思ってください。」と海賊対処の任務を完遂した隊員を称えました。引き続き、自衛艦隊司令官の訓示を代読し、「隊員諸官が本行動を通じて示した多大な努力と献身に対し、改めて敬意を表するとともに、諸官一人ひとりがおなご一層精進することを期待する。」と述べました。

安納2佐は取材に対し、「時には気温が50度を超える過酷な環境だったが、一人ひとりが役割を果たし無事に任務を終えることができた。遠い日本から隊員を支えてくれた家族に改めて感謝したい。」と答え、達成感に満ちた表情を浮かべていました。

派遣期間中、温かい声援を送って下さった国民の皆様、そして派遣中の隊員を支えて下さったご家族の皆様に心から感謝いたします。



無事着陸に安堵し、P-3Cから降りてくるのを待ちわびるご家族



P-3Cとともに第2航空群司令に帰国挨拶



隊員も、拍手と笑顔で出迎えました！



ご家族と久しぶりの対面「おかえりなさい」



任務を終え、誇らしげに帰国行事に臨む指揮官・安納2佐と派遣隊員



帰国行事終了後、ご家族へ労いの言葉をかける第2航空群司令